

2023年2月14日

各位

東京都千代田区平河町二丁目5番3号  
株式会社ガイアックス  
代表執行役社長 上田 祐司  
(コード番号: 3775 名証ネクスト市場)  
(連絡先) 執行役管理本部長 野澤 直人  
TEL 03-5759-0300 (直通)

**2022年12月期通期連結・個別業績見込みと前期実績値との差異並びに  
有価証券評価損(売上原価)及び固定資産の減損損失の計上に関するお知らせ**

2022年12月期の通期連結・個別業績見込みが、前連結・個別会計年度の実績値と比較して、差異が生じる見込みとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。また、2022年12月期連結決算及び個別決算において、有価証券評価損(売上原価)及び固定資産の減損損失を計上しておりますので併せてお知らせいたします。

なお、当社は2022年12月期の業績予想は公表しておりません。

記

1. 2022年12月期通期連結業績見込み(2022年1月1日~2022年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	2,196	△195	△195	△30	円 銭 △6.18
当期見込み(B)	2,597	△210	△174	△341	△69.49
増減額(B-A)	400	△15	21	△311	—
増減率(%)	18.2%	—	—	—	—

2. 2022年12月期個別業績見込み(2022年1月1日~2022年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	2,032	△74	△122	1	円 銭 0.25
当期見込み(B)	2,411	△76	△79	△339	△69.08
増減額(B-A)	379	△2	43	△340	—
増減率(%)	18.7%	—	—	—	—

### 3. 差異の理由

#### (1) 連結業績

当連結会計年度は、売上高については、インキュベーション事業において当社の保有している有価証券の一部を売却したことに加え、ソーシャルメディアサービス事業において SNS マーケティング・広告代行の売上が大きく伸びたこと、受託開発の大型案件の納品が重なったことなどにより、上振れる結果となりました。利益面については、下記 4. に記載のとおり、売上原価に有価証券評価損を計上しております。販売管理費は、人件費の増加と円安の影響による AWS 費用の増加が利益を圧迫いたしました。加えて下記 4. のとおり、固定資産の減損損失を計上しております。これらの理由により前期実績との差異が生じる見込みであります。

#### (2) 個別業績

当事業年度の売上高につきましては、上記 (1) 連結業績と同様の理由により、上振れる結果となりました。利益面につきましても、下記 4. に記載のとおり有価証券評価損を売上原価に計上しており、また固定資産の減損損失を計上しております。これらの理由により前期実績との差異が生じる見込みであります。

### 4. 有価証券評価損及び固定資産の減損損失計上について

当連結会計年度第 4 四半期において、インキュベーション事業で保有している有価証券のうち実質価額が下落し、回復する可能性が低いと想定されるものについて保守的に評価し、連結及び個別決算において 11 銘柄に係る 30 百万円の有価証券評価損を売上原価に計上しております。

また、ソーシャルメディアサービス事業及びインキュベーション事業における固定資産について、将来キャッシュ・フローによる回収可能性を検討した結果、減損損失として 179 百万円を計上しております。

以上